

Ver. 1

プロジェクト名：メキシコ合衆国水質基準策定能力強化プロジェクト 期間：25 ヶ月間
 対象地域：メキシコシティ及びサンチャゴゴ川上流 ターゲットグループ：国家水委員会 (CONAGUA)

作成年月日：2008年3月17日

プロジェクトの要約	指 標	指標データ入手手段	外部条件
上位目標 水質環境クワイテリアがメキシコ規則 (NMX) として認められ、水質環境基準となる。 プロジェクト目標 国家水委員会の水質環境クワイテリア策定能力が強化される。	1. NMX の制定状況 1. 現時点の (ABC がドラフトした) 水質環境クワイテリア案の見直し状況	1. NMX 2. CONAGUA 年報 1. 見直された水質環境クワイテリア案	メキシコ政府が本プロジェクトの成果を政策に積極的に取り込む。
成果 1. 淡水域における生物及び人の健康保護のために必要なクワイテリア項目 (化学物質及びその他のパラメーター) を特定する能力が強化される。	1. 殺虫剤、除草剤に関する収集情報の適切性 2. 水質クワイテリアに含むべき項目選定のため、毒性学的観点から、レビューされた項目数 3. 汚染源が排出する汚染物質と現時点の水質環境クワイテリア案との対応関係の適切性 4. 除草剤、殺虫剤の使用状況と現時点の水質環境クワイテリア案との対応関係の適切性 5. 選定されたクワイテリア項目の健康保護、水利用確保上での妥当性 6. 検討された水質環境クワイテリア策定の手順と手法の適切性	1. 業種別工場排水汚濁物質のレビューと解析結果の報告 * 水質環境クワイテリア項目の選定基準の検討結果報告 * 水質環境クワイテリア項目の科学技術的妥当性の検討結果報告* 4. 水質環境クワイテリア策定に関するマニュアル案	国家水委員会水質部の水質環境クワイテリア案作成にあたっての役割が変化しない。

	<p>7. 「国家水法及び連邦権利法に規定された水利用のための水質クライテリア改定調査報告書（以下、「報告書」）」の評価結果</p> <p>8. セミナーの参加者数、参加者の理解度</p> <p>9. マニュアルの作成状況</p>	<p>(※：プロダグレス・レポートに含める)</p>
<p>2. 特定されたクライテリア項目に対してメキシコの水環境に適した最大許容濃度及びレベルが決める能力が強化される。</p>	<p>1. 最大許容濃度及びレベルを決めるために把握した水域汚染特性の適切性</p> <p>2. 成果 1 にて選定されたクライテリア項目について、毒性的観点から最大許容濃度をレビューした項目数</p> <p>3. 最大許容濃度及びレベルの国際機関及び主要国との比較・評価の適切性</p> <p>4. 改定の対象としたクライテリア項目の最大許容濃度及びレベルと現況水質レベル及び汚濁源との対応関係の適切性</p> <p>5. 選定された分析手法の技術的、実践的適切性</p> <p>6. 改定クライテリアの妥当性</p> <p>7. マニュアルの作成状況</p>	<p>1. クライテリア項目の許容最大濃度／レベルの比較一覧表*</p> <p>2. 許容最大濃度／レベルと分析手法の検討に係るマニュアル案</p> <p>(※：プロダグレス・レポートに含める)</p>
<p>3. 国家水委員会が水質環境クライテリア案に含まれる化学物質（特定の、全有機炭素（TOC）、農薬、揮発性有機化合物（VOC）等）を十分な信頼性をもって分析することができる。</p>	<p>1. TOC、農薬、VOC 等に係る分析訓練の対象者数、分析能力の習得度と習得した人数</p> <p>2. SOP の作成数</p> <p>3. 設定された殺虫剤、VOC の検出限界値の技術的、実践的適切性</p> <p>4. 中央ラボの分析能力と地方ラボ指導能力</p> <p>5. ワークショップの参加者数、参加者の理解度</p> <p>6. 標準物質に比較した分析エラーの減少</p>	<p>1. TOC、農薬、VOC 等に係る訓練報告*</p> <p>2. 対象となる化学物質分析の SOP 案</p> <p>3. ワークショップ実施報告*</p> <p>(※：プロダグレス・レポートに含める)</p>

<p>活動</p> <p>成果 1. 淡水域における生物及び人の健康保護のために必要なクライテリア項目（化学物質及びその他のパラメーター）を特定する能力が強化される。</p> <p>1-1 国家水委員会のキャパシティを評価する。</p> <p>1-2 メキシコ国内の殺虫剤、除草剤に関する情報（種類、生産量、消費量、輸入量等）を収集する。</p> <p>1-3 「国家水法及び連邦権利法に規定された水利用のための水質クライテリア改定調査報告書（以下、「報告書」）」の“化学物質及びパラメーターの選定基準”（約 300 項目）を評価する。</p> <p>1-4 必要に応じて、クライテリア項目選定の新基準を設定する。</p> <p>1-5 水質環境クライテリア案に対するクライテリア項目を選定する。</p> <p>1-6 セミナーを計画し実施する。</p> <p>1-7 上記活動をマニュアルとして作成する。</p>	<p>投入</p> <p>日本側</p> <p>1. 短期専門家</p> <p>1) 総括／水質基準／有機化合物分析</p> <p>2) 化学物質のリスク評価</p> <p>3) 工場排水</p> <p>4) 毒性学</p> <p>5) 有機化合物分析</p> <p>2. セミナー及びワークショップの講師</p> <p>3. プロジェクト運営管理費</p> <p>メキシコ側</p> <p>1. カウンターパート（プログレス・レポート等の作成は共同作業として行う）</p> <p>2. 建物、施設</p> <p>3. プロジェクト運営管理費</p> <p>4. TOC メーター</p>	<p>C/P が活動実施のために継続的に配置される。</p> <p>本プロジェクトのため継続的に確保される。</p> <p>必要な試薬等の入手が容易になる。</p>
<p>成果 2. 特定されたクライテリア項目に対してメキシコの水環境に適した最大許容濃度及びレベルを決める能力が強化される。</p> <p>2-1 国家水委員会のキャパシティを評価する。</p> <p>2-2 既存のデータ及び情報に基づいてメキシコにおける水の特性及び水生生物に関する情報を収集する。</p> <p>2-3 上記活動 1-5 によって選定されたクライテリア項目について「報告書」で提案された最大許容濃度及びレベルと国際機関及び主要国（WHO, USEPA, 米国、日本）において当該クライテリア項目に対して適用している最大許容濃度及びレベルを比較する。</p> <p>2-4 上記活動 2-3 によって選定されたクライテリア項目に対する最大許容濃度及びレベルの設定のための方法論をリスク評価の観点から評価する。</p>		

<p>2-5 必要に応じて、方法論を改定する。</p> <p>2-6 活動 2-5 に基づいて選定されたクライテリア項目に対して提案されている最大許容濃度及びレベルを改定する。</p> <p>2-7 選定されたクライテリア項目に対する適切な分析方法を最大許容濃度及びレベルを考慮して選定する。</p> <p>2-8 上記活動をマニュアル化する。</p>		<p>前提条件 必要な C/P、機 材、予算が CONAGUA に より準備さ れる。</p>
<p>成果 3. 国家水委員会が水質環境クライテリア案に含まれる化学物質（特定の全有機炭素（TOC）、農薬、揮発性有機化合物（VOC）等）を十分な信頼性をもって分析することができる。</p> <p>3-1 国家水委員会のキャパシティを評価する。</p> <p>3-2 事前調査時の国家水委員会の提案（下記*）に基づき、対象とする化学物質を確認する。</p> <p>3-3 TOC の測定訓練を実施する。</p> <p>3-4 TOC 測定の標準作業手順書（SOP）を作成する。</p> <p>3-5 現在国家水委員会で分析している殺虫剤及び VOC の定量下限値を把握する。</p> <p>3-6 定量下限値が最大許容濃度以上の殺虫剤及び VOC に対する分析指導を行う。</p> <p>3-7 上記化学物質分析の SOP を作成する。</p> <p>3-8 その他 CONAGUA から提案があった化学物質（下記*）の分析指導を行う。</p> <p>3-9 上記化学物質分析の SOP を作成する。</p> <p>3-10 ワークショップを計画し実施する。</p>		

* CONAGUA から提案があった物質

農薬

除草剤

フェノキシ系： MCPA

芳香族カルボン酸系：エンドタル
ビピリジリウム系：パラコート
アミノ酸系：グリフォサット（またはグリホサート）
尿素系：デューロン（またはシデュロン）
殺虫剤
有機塩素系：クロルデン
カーバメイト系：カルナリル（またはカルバリル）
有機リン系：マラチオン、クロルピリホス（CONAGUA の分類は半揮発性有機物質）

VOC（揮発性有機化合物）

プロピレングリコール（CONAGUA の分類は、非塩素系半揮発性有機物質）
エピクロロハイドリン（CONAGUA の分類は、塩素系揮発性有機物質）
アクロレイン（CONAGUA の分類は、非塩素系揮発性有機物質）
ホルムアルデヒド（CONAGUA の分類は、その他の浄水消毒副生物質）

浄水消毒副生物質

ハロ酢酸系：トリクロロ酢酸
クロラミン系：クロラミン
臭化物系：ジブロモアセトニトリル

その他

臭化物（CONAGUA の分類は、陰イオン系浄水消毒副生物質）

活動計画

	年 月	2008												2009												2010											
		2008												2009												2010											
		6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9								
プロジェクト実施機関																																					
合同調整委員会	△				△						△																										
ワークショップ(W)/ セミナー(S)				S																							W										
成果1. 淡水域における生物及び人の健康保護のために必要なクライテリア項目(化学物質及びその他のパラメーター)を特定する能力が強化される。																																					
I-1 国家水委員会のキャパシティを評価する。																																					
I-2 メキシコ国内の殺虫剤、除草剤に関する情報(種類、生産量、消費量、輸入量等)を収集する。																																					
I-3 「国家水法及び連邦権利法に規定された水利用のための水質クライテリア改定調査報告書(以下、「報告書」)」の“化学物質及びパラメーターの選定基準”(約300項目)を評価する。																																					
I-4 必要に応じて、クライテリア項目選定の新基準を設定する。																																					
I-5 水質環境クライテリア案に対するクライテリア項目を選定する。																																					
I-6 セミナーを計画し実施する。																																					
I-7 上記活動をマニュアルとして作成する。																																					

<p>成果2. 特定されたクライテリア項目に、対してメキシコの水環境に適した最大許容濃度及びレベルを決める能力が強化される。</p>																								
<p>2-1 国家水委員会のキャパシティを評価する。</p>	<p>専門家チーム</p>	<p>CONAGUA</p>																						
<p>2-2 既存のデータ及び情報に基づいてメキシコにおける水の特性及び水生生物に関する情報を収集する。</p>	<p>専門家チーム</p>	<p>CONAGUA</p>																						
<p>2-3 上記活動1-5によって選定されたクライテリア項目について「報告書」で提案された最大許容濃度及びレベルと国際機関及び主要国（WHO, USEPA, 米国、日本）において当該クライテリア項目に対して適用している最大許容濃度及びレベルを比較する。</p>	<p>専門家チーム</p>	<p>CONAGUA</p>																						
<p>2-4 上記活動2-3によって選定されたクライテリア項目に対する最大許容濃度及びレベルの設定のための方法論をリスク評価の観点から評価する。</p>	<p>専門家チーム</p>	<p>CONAGUA</p>																						
<p>2-5 必要に応じて、方法論を改定する。</p>	<p>専門家チーム</p>	<p>CONAGUA</p>																						
<p>2-6 活動2-5に基づいて選定されたクライテリア項目に対して提案されている最大許容濃度及びレベルを改定する。</p>	<p>専門家チーム</p>	<p>CONAGUA</p>																						
<p>2-7 選定されたクライテリア項目に対する適切な分析方法を最大許容濃度及びレベルを考慮して選定する。</p>	<p>専門家チーム</p>	<p>CONAGUA</p>																						
<p>2-8 上記活動をマニュアル化する。</p>	<p>専門家チーム</p>	<p>CONAGUA</p>																						

3. 要請書

日本の技術協力に対する要請書

1. 要請日: 年 月
2. 要請者: メキシコ政府
3. プロジェクト名: メキシコにおける公式水質環境ガイドライン/基準策定計画
4. 実施機関: 国家委員会 (CONAGUA)
住所: Av. SAN BERNABÉ NO. 549, SAN JERÓNIMO LÍDICE. DEL MAGDALENA CPNTRERAS. C.P. 10200
担当者: ヘスス・ガルシア・カブレラ
Tel: (55) 53770205 Fax: (55) 53770208
E-Mail: Jesús.garcia@cna.gob.mx
5. プロジェクトの背景
(当該分野の現状、政府による当該分野開発計画、懸案事項、問題点、分野内の既存の開発活動等)

メキシコは 11,122km の沿岸線を有し、ほぼ 70%が太平洋の海洋斜面、カリフォルニア湾、コルテス海に該当し、30%強がメキシコ湾とカリブ海に該当する。

大陸棚と河川が会合する沿岸部では、公共サービス向けの施設、観光開発、港湾施設、漁業施設、養殖場および住居や、石油施設、造船所、電気施設が存在する。それらは有益かつ特別で複合的な場所であり、独自のレクリエーション、海洋貿易、そこに住む住民のための雇用創設の機会を提供している。

さらに、大陸上の水塊に由来する影響の効果を考慮しなければならないので、メキシコの淡水塊も含めなければならない。

公共保健ならびにダム・湖沼・河川・堰・メキシコ沿岸で展開される活動に対する重要性に鑑み、水の合理的利用、水質汚染の予防とコントロール、水生植物相・動物相の保護を考慮して、水の様々な用途に対する保護のために生態学的ガイドラインあるいは基準を含むメキシコの基準を設立することが求められる。

さらに、水中のパラメーターおよび物質のレベル、あるいはその影響と許容レベルを明確にしなければならない。なぜなら、汚染源の存在は、溶解あるいは浮遊物質の自然バランスを乱し、それにより水質の構成および品質を変化させるからである。

水中に住む有機体は、食物連鎖伝達の結果として直接あるいは間接的に生物濃縮性汚染源となりうる。そのため、この基準またはガイドラインの定義における根本的な重要性は、水の汚染源、これらの存在と生物内に引き起こす影響の相互関係、水の直接的消費者ならびに水資源に依存する種と生産活動の認識である。

そのために、メキシコでは水塊の自然条件が水質と水量において大きく変動すること、これらの水塊のいくつかが呈する劣化の進行、一つの生態系内の有機体の存在と通常の成育に必要な環境条件、水

の物理的・化学的・生物学的特性の変化が引き起こす様々な影響が考慮されなければならない。

一方で、これらの生態学的基準あるいはガイドラインにより管轄当局が、劣化兆候を示す水塊の水質回復または当初設定されたものより良好な条件を示す水塊の保護に向けた、水質汚染防止とコントロールの連携プログラム設定の必要性を確認できることが必要である。

この情報により、国内水質モニタリング網の再設計、あるいは拡大の必要性、また必要に応じて特別調査を行うケースを確認する必要性を決定することができる。

様々な用途に対する水質の生態学的基準であるので、水生生物を維持することができ、あるいは実際に維持するものなので、水生生物の保護を確保する条件を備えなければならない。また、生物保護のための生態学的水質基準は、食物連鎖を構成する生物種への被害を予防して、水生有機体の生存保証と生物濃縮回避に基づいて設定され、養殖用の水質の場合は、養殖あるいは半養殖対象の生物種の成長と成育保証に基づいて設定され、消費により人間の健康に影響を及ぼしうる物質の生物濃縮の可能性を予防する。

水質保護のガイドラインあるいは基準の配慮は、水塊の他の用途を考慮することを忘れず、人間の飲用の給水源に第一に焦点を当てるべきことは明らかである。

6. プロジェクトの概要

(1) メキシコ合衆国淡水・汽水・海水全国モニタリング網の強化

(プロジェクト期間終了数年後にプロジェクト目標達成の結果として期待される開発効果)

(2) プロジェクトの目標

(プロジェクト期間終了時に達成が期待される目的。可能であれば、数量的指標を伴って作成してください)

学術・研究機関間およびこれらの活動関連の政府機関の参加により、メキシコ水塊の生態的条件ならびに水生資源の利用に合わせたガイドラインあるいは基準を創設する。

(3) 成果

(プロジェクト目標を達成するために、プロジェクト活動により実行される目的)

メキシコ水塊の水質に関するメキシコ基準を設定する。淡水・汽水・海水中の重金属、農薬、微生物のパラメーターを規格化するための基準またはガイドラインを伴うメキシコ基準 (NMX) が創設される。

(4) プロジェクト活動

(「拠出」の効果的使用によりプロジェクトの各「成果」を達成しようとする行動を明記してください)

- パラメーターのグループ毎の NMX 創設のための機関間作業グループの形成
- 重金属に関するメキシコ基準の計画案の作成、討議、見直し、発行。
- 農薬に関するメキシコ基準の計画案の作成、討議、見直し、発行。
- 微生物学的パラメーターに関するメキシコ基準の計画案の作成、討議、見直し、発行。

(5) 被供与国側からの拠出

(カウンターパート人員 (プロジェクト・マネージャーの氏名・役職を明記してください)、サポート・スタッフ、事務所スペース、経常費、車両、機材等)
メキシコ水質基準 (NMX) 創設の責任者である専門人員

(6) 日本政府側からの拠出

(日本人専門家的人数と資格、研修コース (日本および現地)、セミナー、ワークショップ、機材等)

日本人専門家は、化学、微生物学、色層分析、原子吸光分光分析、水のサンプリングにおける経験を有するものとする。

開発途上国であるメキシコには予算的制約があり、これが外国政府に財務・技術的支援を求めさせるのである。これを考慮して、東京およびメキシコ・シティに本部を有する日本国際協力機構を通して、メキシコに恩恵を与える提案の分析を提案する。これは、重金属、農薬、微生物等のパラメーターから始めて、様々な用途の水質の生態学的ガイドラインまたは基準に関するメキシコ基準を創設するものだからである。

上記に対して、参加人員は日本人専門家の指導・助言を受けることが必要であり、そのため、日本でどのように適用するかという全体的なビジョンにより提案の一部を調査するために、適切と思われる様々な県や機関の視察を提案する。

また、汽水-海水の各パラメーターの限界値あるいは上限値を決定するための試験を実施できるように国立レファレンス・ラボラトリー (LNR) のための機材、資材、試薬も必要とされる。現在 LNR は、淡水分析用の機材・資材を有するのみである。

7. 実施日程

2007年8月から2009年8月

8. 実施機関

(予算、人員等)

国家水委員会は、環境天然資源省から分離した組織である。その組織構造内に技術事務局があり、以下の部局を伴う衛生・水質局 (GSCA) が配属されている: 1) ラボラトリーおよびモニタリング、2) 流域衛生、3) 水質および環境影響調査、4) 水の再利用および技術的診断。

GSCA は、資源の分析・評価ツールを用い、情報処理システムを最適化し、水資源汚染の防止とコントロールのための技術・規範的文書をアップデートして、水質の認識と向上および国内水塊の汚染源の環境的影響削減に貢献する。

現在水力学の専門家 23 名、上級技術士 4 名、事務補助員 4 名、秘書 6 名、事務連絡員 1 名、副部長 3 名、部長 1 名を擁する (組織図参照)。

衛生・水質局組織図 (略)

2006年に割り当てられた予算 (CONAGUA の様々な地方および国の事務局に対して行われる割当を含む) は \$ 44,523,196.54 (四千四百五十二万三千百九十六ペソ五十四センタボ) に上った。

9. 関連活動

(被供与国政府、他の供与国、NGO 等による当該分野内の活動)

メキシコ全国モニタリング網の活動、水塊分類調査、水質の技術的診断作成、クリーン・ビーチ・プログラムと直接的に関係がある。

10. 性差への配慮

(性差の観点からのプロジェクトの重要情報)

11. 社会環境的配慮

このプログラムは、観光 - レクリエーション的用途、輸送、エコロジー、水生生物保護、湿原保全、砂浜の清掃、生物学的多様性の保全、給水源の保護、工業的利用、農牧利用、農業灌漑面において、水生生態系の健康と密接な関係を有する。

(添付の選択用紙に記入してください)

12. 裨益者

(プロジェクト実施による直接および間接的肯定的変化の対象となる人口(可能であれば性別データも))

生態学的ガイドラインや基準の適用を示すメキシコ基準が備えられていないので、得られる裨益は全国レベルである。

13. 治安条件

しかるべき注意を守れば、外国からの参加者の安全・保全性は保証される。

14. その他

APPLICATION FORM FOR JAPAN'S TECHNICAL COOPERATION

1. Date of Entry: Day _____ Month _____ Year _____
2. Applicant: The Government of México
3. Project Title: MEXICAN NORMS ABOUT GUIDELINES OR ECOLOGICAL CRITERIA FOR WATER QUALITY
4. Implementing Agency: NATIONAL WATER COMISSION (CONAGUA)
Address: AV. SAN BERNABÉ NO. 549. SAN JERÓNIMO LÍDICE. DEL. MAGDALENA CONTRERAS. C. P. 10200
Contact Person: JESÚS GARCÍA CABRERA
Tel. No.: (55) 53 77 02 05 Fax No. (55) 53 77 02 08
E-Mail: jesus.garciaca@cna.gob.mx

5. Background of the Project

(Current conditions of the sector, Government's development policy for the sector, issues and problems to be solved, existing development activities in the sector, etc.).

Mexico counts on approximately 11,122 km of coastal area, of which, almost 70% correspond to the slopes of the Pacific Ocean, Gulf of California and Sea of Cortes, whereas little more of 30% it corresponds to the Gulf of Mexico and the Caribbean Sea.

In the coastal zones, place where the continental platform and the rivers are with the sea, exists works destined to public services, tourist, harbor, fishing, aquaculture, and human developments, as well as oil, naval and electrical facilities they are valuable, special and complex sites, that offer unique opportunities of recreation, marine commerce and generation of uses for the inhabitants of the communities in seated them.

In addition, one is due to consider that the effects of the impacts come from the epicontinental water bodies, reason why is necessary to include the fresh water bodies of Mexico.

Having this relevance for the public health and the activities that are developed in lakes, rivers, dams and the Mexican coasts,

Mexican Norm that include the guidelines or ecological criteria for protection of the several uses who have the water, considering the rational advantage and the prevention and control of the contamination of the water, as well as the protection of the aquatic flora and fauna.

In addition, the levels will be due to need the parameters and the substances that are in the water, or their permissible effects and their levels since the presence of polluting agents unbalances the natural balance of the dissolved or suspended substances, modifying with it the composition and the water quality.

The organisms that live in this system can bioaccumulate polluting in direct or indirect form as a result of their transmission through the food chain, is for that reason the fundamental importance in the definition of these criteria or guidelines, the knowledge of the polluting agents of the water, the correlation between presence and the effects that these cause in the alive beings, as well as of the direct consumers of the water and the species and productive activities that depend on this resource.

For it one will be due to consider that in Mexico, the natural conditions of the water bodies widely vary in quality and amount, the advanced deterioration that presents some of these bodies, the environmental conditions for the existence and normal development of the organisms in an ecosystem and the diverse effects causes the variation of the physical, chemical and biological characteristics of the water,

On the other hand, it is necessary that the comparison of these ecological criteria or guides allows the competent authorities to identify the necessity to establish coordinated programs of prevention and control the contamination of the water oriented to recover the quality of those water bodies that show deterioration signs, or, to protect to that at the moment they present better conditions.

With this information, the necessity will be able to determined to redesign or, in its case, to extend the National Water Quality Monitoring Network, as well as to identify the cases in that being necessary to made a special study.

Being the ecological criteria of quality of the water for diverse uses they can maintain or in fact they maintain aquatic life and that therefore must reunited conditions that assure the protection of aquatic life. Also, the ecological criteria of water quality for the protection the life will settle down on the base to guarantee the experience of the aquatic organisms and to avoid the bioaccumulation danger, in the species of the food chain and for the case of the water quality for use in aquaculture they will be due to establish on the base to guarantee the growth and the development of the species to culture or semi culture, anticipating the possibilities of bioaccumulate of substances that could affect the human health by their consumption.

Obviously, the considerations of guidelines or criteria of water quality protection they must focus fundamentally to sources of supply for human consumption, without letting consider the other uses of the water bodies.

6. Outline of the Project

(1) Overall Goal

Fortification of the National Monitoring Network in fresh, brackish and marine waters of Mexico.

(Development effect expected as a result of achievement of the "Project Purpose" in several years after the end of the project period)

(2) Project Purpose

(Objective expected to be achieved by the end of the project period. Elaborate with quantitative indicators if possible)

To generate the guidelines or ecological criteria fit to the ecological conditions and to re-use the aquatic resource in the Mexican water bodies, by the interinstitutional participation of the academy, the investigation and governmental institutions related to these activities.

(3) Outputs

(Objectives to be realized by the "Project Activities" in order to achieve the "Project Purpose")

To establish the Mexican Norms of water quality in water bodies of Mexico. With those criteria or guidelines will be generated Mexican Norms (NMX) to legislate

the heavy metal, pesticides and microbiology parameters in fresh, brackish and marine water.

(4) Project Activities

(Specific actions intended to produce each "Output" of the project by effective use of the "Input")

- Conformation of the Interinstitutional Work Group to generate the NMX by groups of parameters.
- Generation, discussion, revision and emission of first draft of Mexican norm on heavy metals.
- Generation, discussion, revision and emission of first draft of Mexican norm on pesticides.
- Generation, discussion, revision and emission of first draft of Mexican norm on microbiological parameters.

(5) Input from the Recipient Government

(Counterpart personnel (identify the name and position of the Project manager), support staff, office space, running expenses, vehicles, equipment, etc.)

Specialized personnel responsible for the generation of Mexican Norms of water quality (NMX).

(6) Input from the Japanese Government

(Number and qualification of Japanese experts, training (in Japan and in-country) courses, seminars and workshops, equipment, etc.)

The Japanese experts must have experience in chemistry, microbiology, chromatography, atomic absorption and water sampling.

Mexico being a developing country presents budgetary restrictions that lead to look for the financial and technical support of other governments. Considering the previous thing, we propose that through the Japan International Cooperation Agency, with seat in Tokyo and in Mexico City, analyze the proposal that will benefit to Mexico since the Mexican Norms on the guidelines or ecological criteria of water quality will be generated in their diverse uses, initiating with parameters like heavy metals, pesticides and microbiology.

For the previous thing, the participant personnel requires the consultant's office of Japanese experts, for which he sets out to travel to different prefectures or institutions that are considered suitable, to work part of the proposals with a

global vision of how they apply it in Japan.

On the other hand, also it will be required of equipment, materials and reagents for the National Reference Laboratory (LNR) to be able to make tests to define the limits or maximum values of each brackish-marine water parameter -. At the moment the Laboratory account with equipment and material to make fresh water analysis only.

7. Implementation Schedule

Month August Year 2007 ~ Month August Year 2009

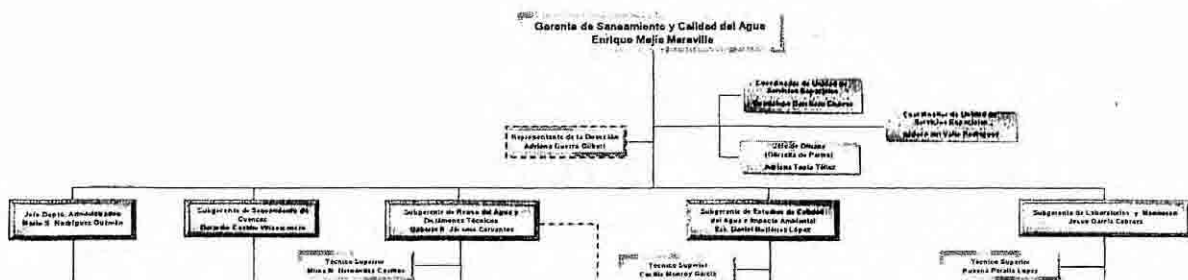
8. Implementing Agency

(Budget, staffing, etc.)

The National Water Commission (CONAGUA) is a dispersed organ of the Environment and Natural Resources Ministry. In its organic structure counted whit a General technical Subdivision in where one is the Office of the Management, Sanitation and Water Quality (GSCA) with following sub office 1) Laboratories and Monitoring, 2) Sanitation of River basins, 3) Water Quality Studies and Environmental Impact, and 4) Reuse of the Water and Technical Opinions.

The GSCA contributes to know and to improve the water quality, as well as to reduce the environmental effects of the sources of contamination of the national water bodies using the tools of analysis and evaluation of the resource, optimizing the Information systems and updating the technical and normative instruments for the prevent and control the pollution of the water resource.

Account at the moment with 23 Hydraulics Specialists, four technicians, four administrative supports, six secretaries, and administrative connection, three submanagers and a manager (see organizational chart)



Organigrama de la Gerencia de Saneamiento y Calidad del Agua.

The budget assigned for 2006 (that includes the distribution that are made to the diverse Regional and State Managements Offices of the CONAGUA), ascended to \$ 44' 523 196,54 (Forty and four million five hundred twenty-three thousand one hundred ninety and six pesos 54/100 M. N.).

9. Related Activities

(Activities in the sector by the recipient government, other donors and NGOs)

It's related directly to the activities of the National Monitoring Network in Mexico, water body's classification studies, generation of technical opinions of water quality and Clean Beach Program.

10. Gender Consideration

(Any relevant information of the project from gender perspective.)

11. Environmental and Social Considerations

This program has one narrow relation with the health of the aquatic ecosystem in its aspects of tourist-recreational uses, transport, ecology, protection of the aquatic life, conservation of wetlands, beach cleaning, conservation of the biodiversity, protection to sources of supply, and uses as, agricultural irrigation industry, farming.

(Please fill in the attached screening format.)

12. Beneficiaries

(Population for which positive changes is intended directly and indirectly by implementing the project and gender disaggregated data, if available)

The obtained benefits will be at national level, since at this moment we don't have Mexican Norms that they indicate the ecological application of guidelines or criteria.

13. Security Conditions

Maintaining the precautions, it is guaranteed the security and integrity of the foreign participants.

14. Others

Screening Format

Question 1 Address of a project site

Sanitation and Water Quality Office. Laboratories and Monitoring Area.
Avenida San Bernabé No. 549. Colonia San Jerónimo Lídice. Delegación Magdalena Contreras.
Código Postal 10200. México, Distrito Federal.

Question 2 Outline of the project

2-1 Does the project come under following sectors?

Yes No

If yes, please mark corresponding items.

- Mining development
- Industrial development
- Thermal power (including geothermal power)
- Hydropower, dams and reservoirs
- River/erosion control
- Power transmission and distribution lines
- Roads, railways and bridges
- Airports
- Ports and harbors**
- Water supply, sewage and waste treatment
- Waste management and disposal**
- Agriculture involving large-scale land-clearing or irrigation
- Forestry
- Fishery**
- Tourism**

2-2 Does the project include the following items?

Yes No

If yes, please mark following items.

- Involuntary resettlement (scale: households, persons)
- Groundwater pumping (scale: m³/year)

Question 5

In case of that EIA was taken steps, was EIA approved by relevant laws in the host country?
If yes, please mark date of approval and the competent authority.

<input type="checkbox"/> Approved: without a supplementary condition	<input type="checkbox"/> Approved: with a supplementary condition	<input type="checkbox"/> Under appraisal
--	---	--

(Date of approval: Competent authority:)
 Not yet started an appraisal process
 Others:()

Question 6

If a certificate regarding the environment and society other than EIA, is required, please indicate the title of certificate.

Already certified Required a certificate but not yet done
Title of the certificate :()
 Not required
 Others ()

Question 7

Are following areas located inside or around the project site?

Yes No Not identified

If yes, please mark the corresponding items.

- National parks, protected areas designated by the government (coast line, wetlands, reserved area for ethnic or indigenous people, cultural heritage) and areas being considered for national parks or protected areas
- Virgin forests, tropical forests
- Ecological important habitat areas (coral reef, mangrove wetland, tidal flats)**
- Habitat of valuable species protected by domestic laws or international treaties
- Likely salts cumulus or soil erosion areas on a massive scale
- Remarkable desertification trend areas
- Archaeological, historical or cultural valuable areas
- Living areas of ethnic, indigenous people or nomads who have a traditional lifestyle, or special socially valuable area

Question 8

Does the project have adverse impacts on the environment and local communities?

Yes **No** Not identified

Reason: []

Question 9

Please mark related environmental and social impacts, and describe their outlines.

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> Air pollution | <input type="checkbox"/> Social institutions such as social infrastructure and local decision-making institutions |
| <input checked="" type="checkbox"/> Water pollution | <input type="checkbox"/> Existing social infrastructures and services |
| <input type="checkbox"/> Soil pollution | <input type="checkbox"/> The poor, indigenous of ethnic people |
| <input type="checkbox"/> Waste | <input type="checkbox"/> Maldistribution of benefit and damage |
| <input type="checkbox"/> Noise and vibration | <input type="checkbox"/> Local conflict of interests |
| <input type="checkbox"/> Ground subsidence | <input type="checkbox"/> Gender |
| <input checked="" type="checkbox"/> Offensive odors | <input type="checkbox"/> Children's rights |
| <input type="checkbox"/> Geographical features | <input type="checkbox"/> Cultural heritage |
| <input type="checkbox"/> Bottom sediment | <input type="checkbox"/> Infectious diseases such as HIV/AIDS etc. |
| <input checked="" type="checkbox"/> Biota and ecosystem | <input type="checkbox"/> Others () |
| <input checked="" type="checkbox"/> Water usage | |
| <input type="checkbox"/> Accidents | |
| <input type="checkbox"/> Global warming | |
| <input type="checkbox"/> Involuntary resettlement | |
| <input checked="" type="checkbox"/> Local economy such as employment and livelihood etc. | |
| <input type="checkbox"/> Land use and utilization of local resources | |

Outline of related impacts:

[]

Question 10

Information disclosure and meetings with stakeholders

10-1 If the environmental and social considerations are required, does the proponent agree on information disclosure and meetings with stakeholders in accordance with JICA Guidelines for Environmental and Social Considerations?

Yes No

10-2 If no, please describe reasons below.

 { No is necessary, the legal aspects protected the brackish and marine waters of Mexico. }